



平成26年12月

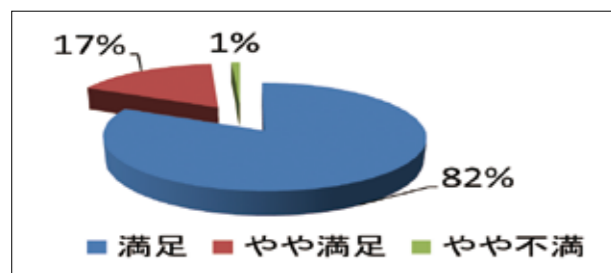
満足度調査結果のご報告



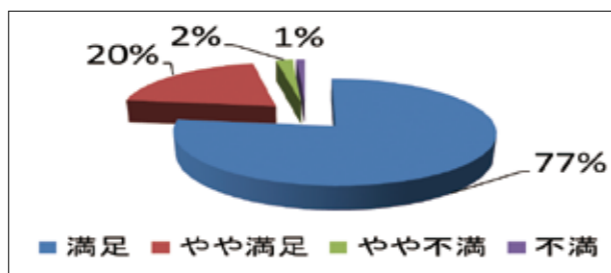
外来発行

前回と比較し、“職員のあいさつ”と“職員の説明”は“満足”が増え改善されています。よりよい病院運営のために、より一層努力してまいります。ご協力いただきましてありがとうございました。

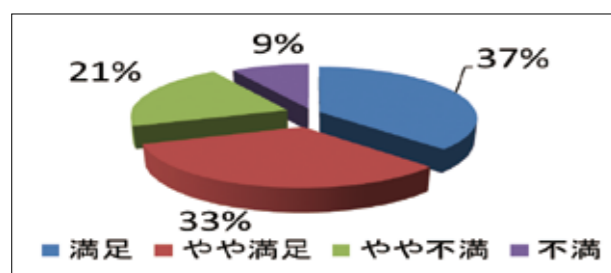
職員のあいさつは？



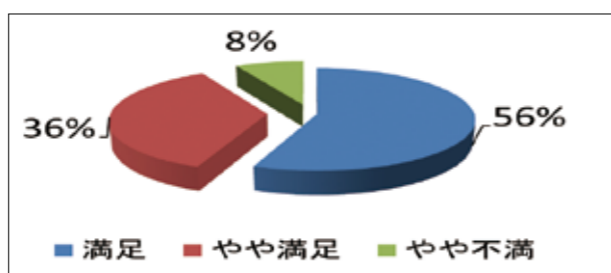
職員の説明は？



診察時の待ち時間は？



院内の雰囲気は？



新型インフルエンザ対応訓練を実施

1月24日に海外で新型インフルエンザが発生し高砂市内でも帰国者から患者が確認されたという設定で、市民病院のICT（感染制御チーム）のメンバーを中心に「臨時新型インフルエンザ対応外来」の訓練を実施しました。またこの訓練では新型インフルエンザ相談窓口での電話対応訓練も併せて行いました。

東播地域の病院や行政機関からの多数の関係者が見つめるなか、病院玄関前と1階ロビーを利用して訓練を行い、最後に講評を受け無事終了しました。



〈患者の誘導〉



〈臨時外来診察の様子〉



〈患者の移送〉

高砂市民病院ニュース

第22号

平成27年3月

きぼう



——— 基本理念 希望のある医療 ———



〈地域への出前講座の様子〉

地域の方々と共に創り上げる講座を目指しています。

当院では「地域に開かれた病院」を合言葉に、地域の方々との交流の場を大切にしています。今回紹介する講座もそのひとつです。

地域の方々のニーズに応えられるように、職員がチームを組み、院内では「ホッとひと息寄り道講座」院外では「出前講座」を企業や地域のコミュニティで開催しています。毎回、たくさん参加していただき、「よい話を聞くことができた」「医療者の人を身近に感じる事ができた」などの意見をいただいています。また、これらの講座を行う事により、地域の方々から私たちも元気をいただいています。これからも地域に貢献していけるように、交流の場を広げて行きたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。



〈学校訪問の様子〉

<編集・発行>

高砂市民病院 広報誌編集委員会

〒676-8585 兵庫県高砂市荒井町紙町33番1号
TEL 079-442-3981(代表) Mail tact5510@city.takasago.hyogo.jp

新任医師を紹介します！

いつでも声をかけてください。

10月着任



まつい としひろ
松井 利浩 (脳神経外科)

高砂の脳卒中、腫瘍、炎症、外傷などの中枢神経の病気はお任せください。

病院のチーム医療を駆使して診療にあたりたいと思います。自分の健康にも気をつけ頑張ります。よろしくお願いします。

11月着任



にしうみ ともこ
西海 智子 (麻酔科)

11月より着任しました西海です。以前高砂市民病院には研修医時代にお世話になりました。各段成長して帰ってきましたので、手術への不安や心配事がございましたらご相談ください。

11月着任



むらい のぶき
村井 信幸 (形成外科)

11月より着任しました村井です。九州出身で関西はまだ勝手が分からずご迷惑をおかけしますが、どうぞ宜しくお願いいたします。どんなにささいなケガやできものでもお気軽にご相談下さい。

栄養管理係の紹介

おいしく食べていただくために

栄養管理係のスタッフは、管理栄養士・栄養士・調理師・調理員で構成されており、それぞれの役割を担いながら協力しあって業務にあたっています。

主な業務の1つとして入院患者さまへの食事サービスを行っており、地域の中核病院・急性期病院として、患者さまの病状に合わせた食事の提供に取り組んでいます。

提供できる食事の種類は45種類以上となり、それぞれに主食の種類や量の変更、おかずの量や形態の変更に加え、禁忌食品の除去や代替メニューなど、きめ細やかな対応をしています。

また、祝日や行事の日には、お寿司や栗赤飯などの特別メニューをご用意し、1日も早いご回復への思いを込めたメッセージカードを添えてお出ししています。食事サービス以外の業務では、管理栄養士が医師の指示に基づいた個別の栄養相談を行っており、患者さま個々の病状や日常生活環境、生きがいなどに配慮しながら、食生活の改善に向けた取り組みを一緒に考え、より良いサポートができるよう心がけています。

患者さまだけでなくご家族の方まで体調が良くなったとお伺いした時は、私たちの喜びも一入（ひとしお）です。

私たちは、食を通じて、患者さまと患者さまを取り巻くさまざまな人たちが、楽しく元気に生活できるよう、お手伝いさせていただきます。



〈盛り付けをしている様子〉



〈たくさん食べて元気になってください〉

最先端技術を搭載したCT装置を導入しました。



この度CT装置が64列マルチスライスCTに更新されました。

今回当院に導入したCT装置は広範囲を短時間で撮影でき、細かな病変や血管描出に優れています。しかし一方で被ばく線量の問題もありましたが、特殊な装置（IMR）を搭載することにより、従来と比較し、検査内容によっては、30～40%程低減した線量で同等の画像を作成できるようになりましたので、安心して検査をお受けいただけます。



〈私たちがお待ちしております〉



〈画像処理及び解析を行う3Dワークステーション〉